

心豊かでたくましい児童生徒を育む

小中一貫教育をめざして

シリーズ えでゆれば

vol.26

小中一貫三戸学園開校式

4月26日「小中一貫三戸学園」の開校式が行われました。

はじめに、竹原義人町長から学園のシンボルである学園旗が丸岡博学園長（三戸中学校校長）に授与されました。



学園旗をお披露目する丸岡学園長

開校宣言

郷土に対する誇りを持ち、健康で創造性に富み、自ら学び、自ら考え、新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成をめざし、ここに

三戸町立三戸小学校

三戸町立斗川小学校

三戸町立三戸中学校

による小中一貫三戸学園の開校を宣言します。

平成二十五年四月一日

三戸町教育委員会

誓いの言葉

平成二十五年四月。

私たちの、小中一貫三戸学園が開校しました。

三戸小学校、斗川小学校、三戸中学校は、みんな仲良く一つの輪になりました。

自分の夢や目標達成のために努力します。

勉強をいっしょうけんめい頑張ります。

基本的な生活習慣を身に付け、たくましい心と体をつくります。

これまでの教えを大切に、新たな歴史と伝統をつくるために、私たちは一学年から九学年まで力を合わせて頑張ることを誓います。

平成二十五年四月二十六日

小中一貫三戸学園

児童・生徒一同

続いて、道尻増治教育委員長が高らかに開校を宣言しました。
全校児童生徒712名による「生命が羽ばたくとき」の記念合唱の後、児童生徒を代表して6名が誓いの言葉を述べ、3校が仲良く力を合わせて頑張ることを宣言しました。



誓いの言葉を述べる児童生徒

左から大澤雪乃さん（8年生）、辻ヶ平琢柱くん（5年生）、工藤奈々恵さん（4年生）、畑山稀一くん（2年生）、水梨朋佳さん（6年生）、水梨達也くん（9年生）

三戸町学校教育研究大会の開催

小中一貫教育をスムーズに進めていくためには、学校内で子どもたちの一番そばにいる先生方の共通認識が大切です。

そこで教育委員会では、町の教育方針や小中一貫教育で目指す子ども像を示し、教職員が一丸となって小中一貫教育を推進する機運を高めるため、町内全ての教職員を対象とした学校教育研究大会を開催しました。

小中一貫教育で目指す子ども像

この連載のタイトルにある「心豊かでたくましい」とは、具体的にどういうことなのでしょう。

① 確かな学力

地域や家庭が学校に期待することは少なくありませんが、学校に一義的な責任があるのは、確かな学力を身に付けることではないでしょうか。ここでいう「学力」は、テストの成績のみを指すものではありません。夢に向かい学び続ける「向学心」を身に付けることを目指します。

② 豊かな心

学校や家庭でも道徳心や社会性を身に付けますが、地域に一義的な責任があるのは、子ども達の豊かな心をはぐくむことではないでしょうか。ふるさと三戸町に誇りを持ち、次代を担う子の育成を目指します。

③ 健やかな体

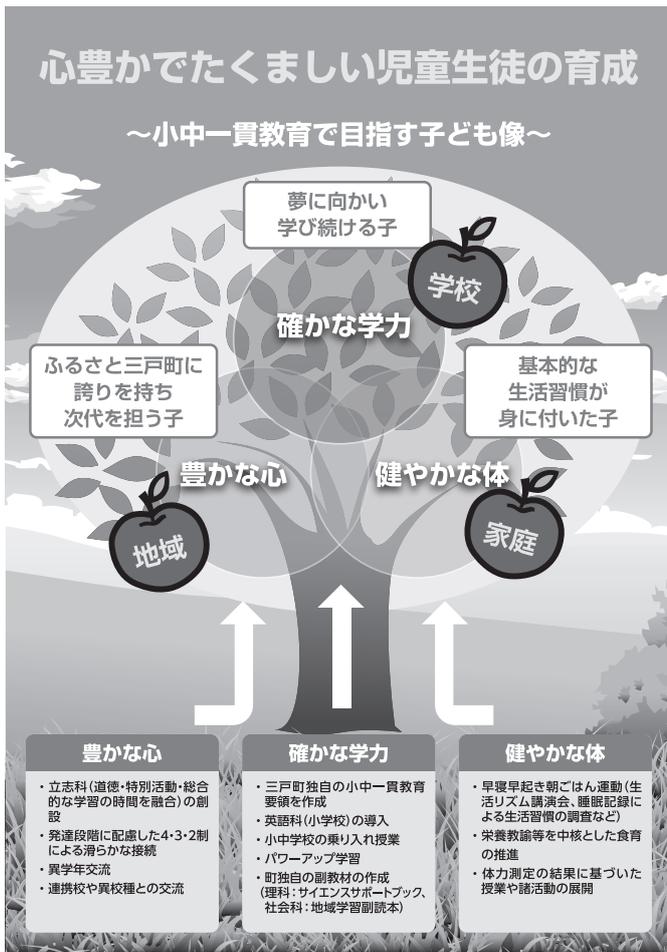
家庭に一義的な責任があるのは、食・睡眠・運動など、日常生活における基本的な生活習慣を身に付けさ

せることではないでしょうか。「確かな学力」や「豊かな心」を下支える「健やかな体」をはぐくみます。

これら3つの項目は、それぞれ独立したものではなく、お互いに重なり合っています。同じく、教育委員会や学校で行っているさまざまな事業も、全てが密接に関係し、心豊かでたくましい児童生徒の育成につながっています。

各校の情報交換

規模の大小や施設一体・分離とい



う異なる条件の中で、町全体が小中一貫教育を行っていくためには、目指す子ども像を共有することが重要です。

同じく、各校ではどのように小中一貫教育を進めているのかという情報交換も必要だと考えています。町では、そのために次の2つのことを実施します。

① 各部会の開催

学校教育研究大会の終了後に、学習指導・生徒指導・立志科・英語科・特別支援教育・養護教諭・学校事務それぞれの部会に分かれて協議を行いました。今後も数回にわたり情報交換を行います。

② コーディネーターの派遣

三戸町地方教育研究所の指導主事が、小中一貫教育コーディネーターとして各校を巡回し、情報の共有や指導助言を行います。

また、今年度より斗川小学校に特別支援学級が設置されたことから、専門的な知識を持つ指導助言者を各校に巡回派遣する予定です。

これらの取り組みが、町全体で小中一貫教育を進める気運を高めていくことにつながるものと期待しています。